

平成 28 年 12 月 定例教育委員会 議事録

日 時 平成 28 年 12 月 22 日 (木) 開会 16 時 33 分
閉会 17 時 53 分

場 所 教育委員会室

出席者 教育長 寺岡 悌二
教育委員 福島 知克 教育委員 (教育長職務代理者)
高橋 護 教育委員
小野 和枝 教育委員
議事録署名委員 福島 知克 教育委員
教育庁 湊 博秋 教育参事
三口 龍義 教育次長兼教育総務課長
篠田 誠 学校教育課長
永野 康洋 生涯学習課長
杉原 勉 スポーツ健康課長
末光 淳二 教育総務課参事
猪俣 正七郎 学校教育課参事兼総合教育センター所長
矢野 淳子 人権同和教育啓発課参事兼学校教育課参事
三木 武夫 別府商業高等学校事務長
三宅 達也 教育総務課長補佐兼教育企画係長
志賀 貴代美 教育総務課長補佐兼指導主事
大嶋 健司 教育総務課主任
傍聴人 0名

欠席者 教育委員 明石 光伸 教育委員

議事日程 第1 議事録署名委員の指名について
第2 平成 29 年度「別府市教育行政基本方針」について【議第 66 号】
第3 平成 28 年度別府市奨学生選考委員会委員の委嘱について
【議第 67 号】

報告事項 (1) 別府市役所機構改革について【報告第 26 号】
(2) 鬼ノ岩屋・実相寺古墳群について【報告第 27 号】
(3) 平成 28 年第 4 回市議会定例会について【報告第 28 号】

その他 (1) 1 月定例教育委員会の開催日程について

議 事 録

◎ 開 会

寺岡教育長 ただいまより平成 28 年 12 月の定例教育委員会を開催いたします。

◎ 議事録署名委員の指名について

寺岡教育長 議事日程第 1、議事録署名委員の指名につきまして、今回は福島知克委員
にお願い申し上げます。

◎ 平成 29 年度「別府市教育行政基本方針」について

寺岡教育長 次に議事日程第 2、議第 66 号 平成 29 年度「別府市教育行政基本方針」
について、別府市教育委員会所管事務委任規則第 2 条第 1 項第 1 号の規定
により議決を求めるものでございますが、この件につきましては私からご
説明申し上げます。

別府市教育行政基本方針の平成 29 年度版でございますが、この目標につ
きましては別府市総合計画後期基本計画の内容との整合性を図るために
別府市総合教育会議を開催いたしまして、市長の意向もお聞きしながら取
組んでまいりたいと考えておりますが、この件につきまして、教育委員の
皆様にお諮りいたしたいのですが、よろしいでしょうか。

質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切りまして、議第
66 号は別府市総合教育会議で諮った後に、次回の教育委員会で具体案を再
提案するというところでよろしいでしょうか。

※全委員了承

寺岡教育長 ご異議もないようでございますので、議第 66 号は継続審議とすることに
決定をいたしました。

◎ 平成 28 年度別府市奨学生選考委員会委員の委嘱について

寺岡教育長 次に議事日程第 3、議第 67 号 平成 28 年度別府市奨学生選考委員会委員
の委嘱につきまして、提案の理由を求めます。

学校教育課長 議第 67 号 平成 28 年度別府市奨学生選考委員会委員の委嘱について、別
府市教育委員会所管事務委任規則第 2 条第 1 項第 7 号の規定により議決
を求めるものでございます。

3ページをご覧ください。表の下に別府市奨学生選考委員会規則第2条第1項及び第2項がございまして、第2条第1項は「委員会は委員11名をもって組織する。」、第2項は「委員は、教育長、教育委員、市長、市議会議員代表1名、民生委員代表2名、市内学校長代表1名及び学識経験者1名とし、別府市教育委員会が委嘱する。」と規定されております。平成28年11月17日(木)に別府市議会議員代表は別府市議会議長に、民生委員の代表については民生委員児童委員協議会会長に、学校長につきましては中学校長会長に、学識経験者は別府ライオンズクラブ代表会長に、選考委員会委員の推薦を依頼いたしました。その結果が表のとおりでございますので、委員の案を読み上げたいと思います。まず、長野恭紘別府市長でございます。続きまして、市議会議員の代表としまして野上泰生厚生環境教育委員会委員、民生児童委員代表として友永瑤子民生委員児童委員協議会副会長、同じく民生児童委員代表として清岡孝子民生委員児童委員協議会会計、学識経験者として嶋幸一別府いでゆライオンズクラブ会長、中学校長代表として新谷なをみ中学校長会長、それから教育長と教育委員の皆様でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。なお、別府市奨学生選考委員会を、昨年同様1月の定例教育委員会当日の定例教育委員会前に開催する予定です。以上でございます。

寺岡教育長 ただいま学校教育課長より議決を求める説明がございました。これより質疑を行います。何かございますか。

高橋委員 大分県議会議員がお入りになっていらっしゃるのですが、この件についてお願いします。

学校教育課長 今年の別府ライオンズクラブの代表会長が別府いでゆライオンズクラブの嶋幸一会長でございまして、代表会長に依頼したところ、この推薦が来ました。別府市奨学生選考委員会規則では、大分県議会議員について特に規定がありません。

福島委員 大分県議会議員でもあるんですね、この方は。

学校教育課長 はい。

福島委員 (表のその)上の女性2名は初めてですかね。

学校教育課長 そうです。昨年の民生児童委員代表がこの12月から任期により代わりましたので、民生児童代表は2名とも新しくなっております。

福島委員 野上議員は、昨年入っていましたか。

小野委員 入っていませんでした。別の方でしたね。

学校教育課長 野上議員、友永副会長、清岡会計、嶋会長、新谷会長の5名が昨年と変わっております。

福島委員 いつも（別府市奨学生選考委員会で）出るのが、（申請者）全員に出してあげましょうよという話ですが、どうですかね。

学校教育課長 昨年の実績は、高等学校（進学者）ですけれども、133名申請者がありまして、63名に出しています。

福島委員 そうなんですよ。

学校教育課長 後で、報告第28号でも報告する答弁の内容にもありますけれども、増額してほしいという議員からの意見も出ております。因みに、今年は今のところ179名申請がありまして、（現在の予算で予定しているのが）60数名ですので、倍率が昨年は約2倍でしたけれども、今年は2.8倍に近いと思います。

高橋委員 （申請が）多いですね。

福島委員 補欠はどうなったんですかね。何名くらい上がったんですか。

学校教育課長 今年になって、他の奨学金等により、4名上がりました。

高橋委員 67名ですか。

福島委員 やっぱり選考委員として（申請者の）皆さんのデータを見て判断していくんですけれども、たくさん上げたいんですよ、結局は。選考委員に委嘱された人が一番言うこととして、それを反映してほしいですよ。来年が65名だとしても、（倍率が）3倍ではなかなか通らないですよ。

学校教育課長 増額については、また関係課と協議してお願いしていきたいと思います。

福島委員 異議はありません。

寺岡教育長 よろしいですか。
では、質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切り、議事日程第3については原案に対し議決することでご異議ございませんか。

※全会一致で議決

寺岡教育長 ご異議もないようでございますので、議第67号は議決いたしました。

◎ 報告事項（1）

寺岡教育長 それでは、報告事項に移ります。報告第26号 別府市役所機構改革につきまして、報告願います。

教育次長 報告第26号 別府市役所機構改革について、平成29年4月1日施行の分をご報告いたします。

11ページをお開きください。教育委員会関係で、機構改革前の教育総務課及び生涯学習課が、機構改革後は教育政策課、社会教育課へ課名が変更になります。理由といたしましては、7ページの最後をご覧ください。教育政策課については、教育政策の企画立案を行い、問題解決に取り組んでいくためでございます。

生涯学習課長 社会教育課へのこの課名の変更につきましては、少し事前のレクチャー等が不十分だったと思います。真意のほどがわかりかねるところはあるのですが、生涯学習というのが非常に概念的な言葉で、生まれてからの全ての学習を含むというような意味合いでございます。従いまして、これを大きな概念で捉えますと、学校教育も生涯学習の中に含まれるということでございますが、以前使っていた社会教育というのは、社会教育法（第2条）に基づく学校教育を除く成人者等に対する組織的な教育活動ということでございますので、課の業務の目的とすれば、非常にはっきりとした言い方になるのではないかと考えております。以上でございます。

寺岡教育長 ありがとうございます。6ページの「2 目的」でございますが、現在の市政になりまして、平成27年10月27日（火）に「まちをまもり、まちをつくる。べっふ未来共創戦略（以下『別府市総合戦略』という。）」を策定し、平成28年3月31日（木）には「別府市総合計画後期基本計画―地域を磨き、別府の誇りを創生する―（以下『後期基本計画』という。）」を策定したことを踏まえまして、別府市総合戦略及び後期基本計画の円滑な推進を図り、「『まちをまもり、まちをつくる』共創のかたちをつくる」ために、別府市役所の組織の編成をすることでございます。この機構改革によりまして、「地域を磨き、別府の誇りを創生する」ため、時代の要請や新たな課題に対応し、地方創生の取組を加速するとともに、「政策市役所」というイメージでございますけれども、その実現を目指して人材育成、そして組織体制の強化を図るという目的で、今回教育総務課が教育政策課に、生涯学習課は先ほど生涯学習課長が申しましたように、社会教育課という従来あった名称に戻るとことでございます。非常に大きな改革だと別府市教育委員会では受け止めておりますが、こういう状況で、教育総務課が来年度の別府市教育行政基本方針を作成しているところでございます。従来の教育の考えや在り方を見直して、今日の新聞にも掲載されておりましたけれども、英語がもう（小学校3、4年生から）入ってきます。それから道徳が教科化され、ITやAI等の教育もこれからの時代の子どもたちにはどうしても必要な能力や資質になるということで、大きく学校も転換することになり、別府市教育委員会の中もそういうことを目指した教育方針にならなければいけないだろうということでございます。何か教育委員の皆様からご質問等ありましたらお願いします。

福島委員 ここ（別府市教育委員会）の場合は、我々教育委員が民間から出ていて、言いたいことを言ってますから、割と別府市役所内部だけではなく、行き来が加わるから、名前を変えたら我々もそのように言わないとというイメージをします。だけど、ほとんどのところはそういう（民間の方が意見を

自由に述べるような)ものを持っていないんじゃないですかね。教育総務課は、何か委員会を持っているんですかね、教育委員会のように常時やるような委員会を。要するに、さらされていないと切磋琢磨出来ないんですよ。こちらも別府市役所から情報をもらいたいし、民間は民間で市役所に対して伝えることが出来るし、その辺りはどうですかね。

教育参事 教育委員会のように、毎月というのは数が少ないと思います。

福島委員 そうでしょう。

教育参事 組織的には、各部毎にいろいろな組織を持っております。ただ、年に2、3回くらいの開催ではないかと、私は認識しているところです。

福島委員 その辺りで、教育委員会が言うことではないかもしれないけど、個人的に何か伝えてください。僕は、教育総務課が教育政策課になるなら、そういう政策的なことと言わないと悪いのかなと思いますしね。我々も少しは勉強するし、お互い切磋琢磨するからいいんでしょうけど、内々でやってしまっただけだと、名前を変えただけであまり意味がないんじゃないかという気はしますね。

高橋委員 そうですね。

教育参事 今回の機構改革で、先ほど教育長よりお話のあった政策という部分が反映をしないといけないということで、名前が変わっています。そういった部分でいろいろな委員会が出来るかどうかは、現時点では何とも言い様がないです。

福島委員 いい機会がありましたら、教育委員会だけではなくて、そういう立場で物を言われると、もっと切磋琢磨しますよ、いろいろな意味で。

教育参事 わかりました。

高橋委員 現在、各課が1つのフロアで並んでいらっしゃいます。課長が、このことについて相談したいので集まろうといったときに、これが委員会になるのではないかというようなことを、しょっちゅうなさっていただけたらと思います。ごく一部の皆さんで決めるのではなくて、そういう結論でも結果でも方向性でもいいですが、教育委員にいつでもお伝えいただくと、月1回の定例教育委員会でももっと突っ込んだ議論が出来るのかなということも、必要になってきたのではないかと思います。ただ、せっかく皆様方が素晴らしい能力も持っていらっしゃるし、実行力も持っていらっしゃるんで、そういったことからいつでもお声掛けしていただければという思いでございます。

福島委員 そうですね。内々にならないことが一番大事で、ここ(別府市教育委員会)は利益追求型の企業ではないですからね。

寺岡教育長 そうですね。

教育参事 そういうことでいきますと、今回の機構改革で教育政策課となりますと、やはり現在の教育総務課の職員がいろいろな形で、各課長にどういった形で進めるかということ協議しないといけなくなる場面が多々出てくるのではないかと、現時点ではそういう認識をしております。教育総務課だけで進められることではないと思いますので、やはりその辺りは十分協議をして、教育委員にご提示が出来るような形で進めていかなくてはならないと考えております。

寺岡教育長 そうですね。教育政策の企画立案を行うところが教育政策課になりますので、これは現在の市長の発想だと思います。教育委員会の目指している教育目標が非常にわかりにくいと言われます。何を到達目標にするのかということをおっしゃるのですが、教育の場合は、例えばいじめ、不登校の全くなかった学校が1つの指標ですけれども、学力がすごく上がったとか、あるいは地域からすごく信頼されているとか、もっと具体的で説得力のあるような施策がなかなか見えにくいということをよく指摘をされます。教育の場合は、道徳的なもの等を評価するので、なかなか難しいところはありますけれども、もう少し学校改革をする、教育改革をするときには、教育政策課を中心に動けるようになるというところはあると思います。それと、生涯学習課も今度社会教育課ということで特化してきましたので、社会教育の推進を孤立しないような形で、学校教育課やスポーツ健康課とつながってこないといけません。それを今後の別府市教育行政基本方針に反映していくということでございます。その他ございませんか。特にならぬようございますので、以上で質疑を打ち切りますが、報告第26号についてはよろしいでしょうか。

※全委員了承

◎ 報告事項（2）

寺岡教育長 次に移りまして、報告第27号 鬼ノ岩屋・実相寺古墳群について、ご報告をお願いします。

生涯学習課長 報告第27号 鬼ノ岩屋・実相寺古墳群について、ご報告をさせていただきます。

この件につきましては、先日埋蔵文化財発掘調査報告書を作成いたしまして、国の方へ意見具申を提出させていただいております。その中で、13ページにもございますように、鬼ノ岩屋・実相寺古墳群について簡単に再度説明をさせていただきます。ご存知のように、鬼ノ岩屋古墳につきましては、昭和32年に国の史跡に指定されております。そして、実相寺古墳群の場所につきましては次の14ページにございますが、国道500号を（鉄輪方面に）ずっと上って行って、実相寺の辺りで曲がる所がございます。その中の鷹塚古墳、それから太郎塚古墳、次郎塚古墳の3基の古墳を国指

定史跡として追加する際、今回別個の古墳ではなくて、鬼ノ岩屋・実相寺古墳群という形で新たな1つの古墳群として名称変更するよう、文部科学大臣に答申が出されております。この特徴につきましては、鬼ノ岩屋古墳が非常に筑後等九州系の影響が強いのに対しまして、実相寺古墳群につきましては、やや畿内の影響が見られる古墳群ということで、ほぼ同じ時期に造られておりますが、1キロメートルほど離れて2つの勢力があったという、非常に関心が高い古墳群であると言えます。下段の方に、これまでの経過と今後の流れを掲載させていただいております。下から2行目で、本年の11月18日(金)、国の文化審議会文化財分科会での審議、議決を経て、文部科学大臣に、国指定に値するという事で答申が出されております。これに基づきまして、来年の3月頃の予定でございますが、官報告示により正式に国の史跡として指定されることになろうかと思われれます。以上、簡単ですが説明を終わらせていただきます。

寺岡教育長 ただいま鬼ノ岩屋・実相寺古墳群につきましてご報告がありましたが、何か教育委員の皆様からございますか。

福島委員 誰が住んでいて、誰が葬られていたかはわからないんですか。

生涯学習課長 おっしゃるとおり、わかりません。ただ、推測では『豊後国風土記』に出てきます綾津媛の墓ではないかと、鬼ノ岩屋古墳については以前から言われておりましたが、物証となる実際の証拠はまだございません。実際のところは、地方の豪族ではないかと思われれます。

福島委員 わかると面白いですけどね。

生涯学習課長 日本の古墳は何千とあるのですけれども、被葬者が特定できるのは20基くらいしかなくて、あとは被葬者がほとんどわからない状況でございます。なかなか難しいとは思っておりますが、その辺りの(被葬者が)誰かという研究は、これから更に進んでいくと考えられます。

福島委員 天皇陵だけなんですかね、わかっているのは。宮内庁が全部管理している分ですが。

生涯学習課長 天皇陵も、実は江戸時代に蒲生君平等の国学者が付けた(名称な)ので、例えば「仁徳天皇陵」(大仙古墳)も発掘された遺物から見ると、時代が逆になっていて、実は違うんじゃないかという意見が出ております。その中で、見瀬丸山古墳や、九州で言えば筑紫君磐井の墓(岩戸山古墳)といった物は、大体間違いないだろうと言われております。

寺岡教育長 よろしいですか。その他は特にないようでございますので、以上で報告第27号についてはよろしいでしょうか。

※全委員了承

◎ 報告事項（3）

【概要】 ※平成28年第4回市議会定例会で教育委員会に関連する議案や質問について、教育参事より市議会の日程を、各課長等より議案質疑、常任委員会（厚生環境教育委員会）の概要をそれぞれ説明した。

寺岡教育長 議案質疑と常任委員会の審査概要ですが、ここまでで何か教育委員の皆様からごさいませんか。よろしいですか。

福島委員 修復する絹本着色雪村友梅像は、描かれた人がすごいのですか、描いた人がすごいのですか。

生涯学習課長 描かれた人がすごいです。描いた方が実際には誰かということは、特定できておりません。

【概要】 ※続いて、各課長等より一般質問の概要を説明した。

寺岡教育長 ありがとうございます。では、一般質問について何か教育委員の皆様より質疑がごさいますか。

高橋委員 今回の平成28年第4回市議会定例会というのは、何か指定管理者で1つ問題提起をいただいたような議会だったと伺っております。教育委員会としても、別府市教育委員会指定管理候補者選定委員会がございましたので、4年、5年の長いスパンではなく、1年毎にスポーツ健康課が中に入ってそういう金額についても精査していかなくてはいけないと思うところが1点と、それから意見箱というのが楽しみです。様々なご意見があると思うんですけど、予算がないからということで単純に切り捨てないで、やはり要望があれば実現に向けて指定管理者と検討していくという姿勢を大事にしていただけたらなというお願いです。以上でございます。

教育参事 高橋委員よりご指摘の件につきましては、議会最終日の平成28年12月20日（火）、議会終了後に反省会が4役以上でございました。その中の冒頭で、市長より、やはり今回の（平成28年別府市議会議第122号議案を取下げた）ことについて、指定管理者制度の業務を持っている課は、1年毎にそういった報告書並びに決算書を確実にもらうようにという指示を受けております。これについては、まだ別府市教育庁の方で課長会がございませんので、来週月曜日に伝えようかという思いでございましたが、1施設毎に指定管理者制度にしているのであれば、ここが赤字でもトータルで黒字であればいいということではなく、1施設毎の現状の報告書を提出するよう指示してほしいと、市長より指示がございました。それから、2点目の意見箱につきましては、現在生涯学習課とスポーツ健康課で指定管理者制度の施設がございまして、何個必要か確認をして、私の方からさっそく教育総務課に予算残がないかということで、年度内に設置をするような形で（指示し）準備を進めさせていただいております。基本的には、指

定管理者に鍵を渡すのではなくて、担当課が鍵をもって開けに行き、内容をお互いが協議をして改善していき、守らなければ指定管理者から外すという意気込みで対応をしていきたいと考えております。以上でございます。

寺岡教育長 ありがとうございます。いよいよ5年間の指定管理者制度も始まりまして、そのような対応をするということですが、その他何かございませんか。

福島委員 学校給食の残菜についてですけれど、このクラスはこういう性格があって、この傾向だと、このおかずだったらいっぱい食べて、このおかずはあんまり食べないとか、そういう研究はなされてないんですか。いっぺんにやると大変でしょうけれど、このクラスとこのクラスだけで実験的にやってみて、うまくいけば全体的にやるとか、そういうことは何もされていなくて、ただ単純に栄養士が、カロリーがこれくらいだから、これくらい食べてということを出して、残ったというのを繰り返しているんですか。それが少しわからないんですけれども。

スポーツ健康課長 委員ご指摘のとおりで、今までは残菜が余った重量をきちんとカウントして、月にいくら余っているというやり方でしたので、そういう細かい所を検討してみたいと考えております。

福島委員 それと、まだハード面についてのご質問が別府市議会議員から多いですね。ソフト面に関する質問があれば、皆さん方も意識がそちらに向かうと思うんですけどね。

寺岡教育長 本当に、いじめや不登校や学力についての質問が非常に連発された時期もありました。

高橋委員 ありましたね。

寺岡教育長 現在はハード面が多いです。

教育参事 施設がもう古くなっている部分があるのではないかと思います。

福島委員 それはそれとして3分の1くらいで、3分の2くらいは学力向上についての質問でないと、答弁するのがスポーツ健康課長と生涯学習課長で、教育次長兼教育総務課長も（今回は）少ないですしね。

寺岡教育長 そういうご指摘があったということで、その他何かございませんか。今回もですが、教育総務課、生涯学習課、スポーツ健康課で、こういう時期にそういうハード面の事案が非常に重なって、予算面でも企画や基本設計等にこれからどんどん入っていくと思いますので、これから先もなかなか厳しい面があると思います。学校教育課もいじめ、不登校と学力の問題は大きな関係があると思います。（新年度に教育総務課が）教育政策課になりますので、漸進的に変えていけるような新たな展開になると思います。報告第28号についてはよろしいでしょうか。

※全委員了承

寺岡教育長 以上で質疑を打ち切りたいと思います。

◎ 閉会

寺岡教育長 教育委員の皆様から、何かお聞きになりたいことやご要望等はございませんか。よろしいですか。
ないようでございますので、以上をもちまして、平成28年12月定例教育委員会を閉会いたしたいと思います。本年最後の定例教育委員会でございます。長い時間お疲れ様でした。

- ・発言の内容について、単純ミスと思われる字句、重複した言葉づかい等を整理の上作成しています。